



◆平成26年度専門学校静岡電子情報カレッジが変わる!!

教頭・教育部長 有賀 浩

平成26年度からスタートする新教育システムの柱の一つに「ユニット制」があります。ICT関連分野を基礎から学び始める方から、既にICT企業で活躍する方々が新たに必要とする技術レベルまで、ニーズに合ったスキル修得の機会を提供するものです。地域産業ニーズに応え、地元ICT産業の活性化を図るため、県内各商工会議所や関連企業団体、地元企業に広く告知活動を行っています。



ユニットの詳細（修得目標スキル、科目一覧及び開講時期）につきましては、本学広報室やオフィシャルサイト内でも入手することができます。（<http://www.can.ac.jp/denshi/gakka10.php>）

仕事、日常生活から娯楽まで、ありとあらゆる場面にICTが不可欠な今、皆さんの周りにもICT関連スキルを必要とされる方が必ずいらっしゃるはずです。様々なニーズに対応できる本学の教育システムを、ぜひ知らせてあげてください！

◆平成26年度 学生募集2月度開催 入学選考に向けて 後期AO入学選考エントリー2月14日(金)まで!!

企画広報室 外木 真衣

2月になりました。梅の花が咲きはじまりましたが、立春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続いていますね。皆さん、健康管理はしっかりできていますか？インフルエンザもまだまだ流行っていますので、手洗い、うがいを徹底し、今年度も後悔することのないよう、様々なことに励んでください。

この春卒業予定の皆さんは、もうすぐ学生生活の締めくくりです。今月は学園祭もありますので、学生生活最後の思い出を存分に作ってくださいね。また、既に内定を頂いた皆さん、出身高校へ内定報告に行きましたか？皆さんの成長した姿に、きっと喜んでくれると思います。是非報告に訪れてみてくださいね。さて、企画広報室では、入学希望者に対して本学について少しでも多くのことを知って頂けるよう、日々広報活動をしています。皆さんの出身高校へ訪問したり、オープンキャンパスを開催したり、時にはメディアを使って本学のことを知って頂けるよう活動しています。しかし、本学の素晴らしさは皆さんが一番感じていることと思います。本学で学んでいること、目指していること、何でも構いませんので皆さんの後輩や本学を訪れている高校生に是非声をかけてください。皆さんの中でも「先輩の声」に勇気付けられ、本学への入学希望するきっかけになった方も少なくないはずです。次は皆さんの番です！「挨拶を基調とした全人教育」の大切さ、「なりたい自分になる」ための学校であることは、経験している皆さんだからこそ伝えられることです。1人でも多くの方が中村学園の良さを感じ、仲間が増えたら嬉しいですね。そして中村学園の輪を更に大きく広げていきましょう！来年度入学生のため、学校・入学選考説明会は右記の日程で行います。電子情報、福祉医療の希望者がいたら是非「行ってみたい！」と声をかけてください！！

2月の行事

2月1日(土) 学校・入学選考説明会 13:00~15:00

1TW・CW第2期実習 ~2/1(土)

1CP 保育実習2(保育所) ~2/1(土)

★託児所：有

2月5日(水) 以降

授業、補講、卒業・後期試験

卒研、ケアスタ

7日(金) 学校・入学選考説明会 17:00~18:30

11日(火) 建国記念日

12日(水) 学校・入学選考説明会 17:00~18:30

介護福祉士全国共通試験

13日(木) 3CP 卒業研究発表会

14日(金) 後期AO入学選考エントリー最終日

電子情報卒研科内発表会 ★託児所：有

後期AO入学選考エントリー最終日

15日(土) 入学選考

ITパスポートCBT

幼稚園音楽発表会 ~2/16(日)

17日(月) 登校日

追再試補講期間 ~2/28(金)

18日(火) ケアスタディ発表会(CW)

19日(水) ケアスタディ発表会(TW)

20日(木) J検CBT

21日(金) 文化祭 ~2/23(日)

22日(土) 学園祭 ~2/23(日)

24日(月) 文化祭・学園祭振休



■入学選考(特待生選考、一般選考、自己推薦選考、社会人選考)

2月15日(土)、3月18日(火)

■後期AO入学選考エントリー：2月14日(金)まで

■学校・入学選考説明会 開催日程

○体験入学、学校・入学選考説明会、保護者対象説明会

2月 1日(土) 13:00~15:00

3月 1日(土) 13:00~15:00

○学校・入学選考説明会、保護者対象説明会

2月 7日(金) 17:00~18:30

2月12日(水) 17:00~18:30

3月 5日(水) 17:00~18:30

12日(水) 17:00~18:30

◆『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』

進路室長 大原 利作

卒業年次の学生諸君、卒業まで残りわずかとなりました。この「わずか」が大事です。勉強は勿論、学校行事などで与えられた役割などを最後までしっかりとやり遂げ、悔いが残らないように、学生生活の「有終の美」を飾るように頑張ってください。

平成25年度(今春卒)の内定状況は、全員就職決定が目前に迫っている福祉医療に比べ、電子情報は景気の回復の兆しを見せているとはいえ厳しい状況が続いています。未内定学生諸君、まだ諦めるのは早いです。まだまだ、自分が活躍できる、貢献できる場はあるはず。この2ヶ月の就職活動を頑張れない人はこれから先の人生も頑張れません。「できる、できない」ではなく、「やるか、やらないか」の強い気持ちと積極的な行動が大切です。

『為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり』という名言があります。「やろうと思えばやれる。やれるまでやりなさい」という意味で、「就職を決めるぞ!」という強い意思を持って活動すれば、結果はそれに近づくということです。ただ待っていて、何も行動を起こさなければ良い結果には結びつきません。「知力」に自信がない学生は、もともと「人間力(コミュニケーション力、意欲、立ち居振る舞いなど)」と「やる気」で勝負してください。明るく、元気でハキハキした積極性のある学生であることを前面に出して面接に挑んでください。自分の核(コア)になる「自分はどのような人間か」、「やりたい事は、できる事は」などを見据え、現実から逃避せず、不安を蹴散らし、失敗を怖がらず、自信を持って、採用側にしっかりと自分を売り込んでください。学校あげて最後まで支援しますので、諦めずに頑張って、喜びの報告をして下さい。

次年度卒業の学生諸君、企業ガイダンスやエントリー・会社説明会が本格化しています。「就職活動にどう向き合っているかわからない」、「自分のやりたいことがわからない」と悩んでばかりいても何にも解は出てきません。企業ガイダンスなどに積極的に参加し、興味を抱いた企業にエントリーし、会社説明会に参加するなど、一歩を踏み出してください。

怯むな、学生諸君。明るく、元気に、前向きに、勇気と自信を持ってチャレンジして下さい。頑張ることは未来につながります。



領地返上寸前の米沢藩再生のきっかけを作った、江戸時代屈指の名君「上杉鷹山(うえずぎ ようざん)」の名言。どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就するというので、やる気の大切さを説いたことば。

◆学園祭・文化祭に向けて

学生会会長 総合福祉学科 3年 戸塚 祐介

寒い日が続く毎日ですが、卒業年次の学生は卒業後の進路も決まり、新たな環境への不安を抱えながらも期待で胸を膨らませていることと思います。進級年次の学生は、この1年間を振り返って反省しつつ新年度へ向けて決意を新たにされているかと思えます。

さて、今年も学園祭の時期がやってまいりました。卒業年次の学生は卒業研究や論文の制作、発表準備に追われて忙しい毎日を過ごしているかと思いますが、学生生活最後の学園祭となるはずで、学生として大いに楽しみ、良い思い出をたくさん作っていただければと思います。

学生会としても大いに盛り上げ、卒業年次のみなさんには良い思い出となり、進級年次のみなさんには、今後の学生生活へ向けての良い触媒とするべく、大いに盛り上げ運営に尽力いたしますので、みなさんのご協力を切にお願い申し上げます。



学生会会長補佐 総合福祉学科 3年 齋藤 聖人

みなさんこんにちは。あっという間に時間がたち、我道祭の季節となりました。卒業を迎える学年、進級する学年を問わずに忙しい毎日が続いているかと思えます。インフルエンザも流行り始めましたが、十分健康に気を付けて頑張りましょう。

そんな中でも、年に1回の大きな行事である学園祭が間近に迫っています。学生会も全力で企画運営にあたりますが、成功のためには何よりもみなさんのご協力が必要です。忙しくて大変かとは思いますが、学生会から協力を求められたとき、あるいは忙しそうにしておりましたら、是非、力を貸してください。学校一丸となって学園祭を成功させ、良い思い出づくりをしましょう。よろしくお願いいたします。

◆第6期相談援助実習を終えて

総合福祉学科 3年 水谷 美樹

今回の第6期実習で私は児童福祉施設(母子生活支援施設)へ行きました。

初めて児童福祉施設での実習でした。これまでは高齢者・障がい者施設での実習で、

子どもとかかわる実習はありませんでした。そして、今回は児童だけでなく母親の支援も行っている施設での実習だったため、親子間での支援についても実際にみる事ができました。

児童だけでなく母親の支援も学ぶということで、不安でどのようにかかわっていけば良いのかも、わかりませんでした。しかし、母親の懸命な姿をみると自分自身でも、何が出来るか、どのようにしていきたいか、を考えるようになる良い機会を与えていただきました。

私自身、この実習で、「社会福祉士という夢のために必要な視野を広げる」ということを改めて実感しました。これから母子という分野にかかわることも少ないと思うため、今回の実習で得たことが私の自信になっていくと思います。

総合福祉学科 3年 中村 智子

学生生活最後の実習では、初めて児童養護施設に行きました。実習先は静岡ホームでしたが、本園とは別に地域超規模児童養護施設小鹿寮という定員6名の施設で実習させていただきました。小鹿寮には現在、小学生2名、高校生3名が生活していました。初めてで緊張しましたが、学べる事がたくさんありました。

特に勉強になったことは、子どもの気持ちの言語化です。子どもの感情を理解し、子どもに伝えることで、自分自身(実習生)が共感していると感じてもらうことができます。これまでの高齢者施設では、利用者様自身が言語化できていたので、新たな発見ができました。

この経験を活かして就職してからも利用者様とコミュニケーションをとり、相手の気持ちに寄り添った援助者になりたいです。

◆メディックファーストエイド講習を受けて



医療情報秘書科 1年 道田 和佳奈

メディックファーストエイドは、私達が将来、医療事務員になるにあたり大切な資格のひとつです。

私は、今までこのような救命救急は自動車学校で学んだ程度でした。しかし、今回のメディックファーストエイドで、さらに詳しいことを学ぶことができました。手当てをする際には血液や吐物などの体液に触れることによって感染することを防ぐため手袋をつけて手当てをする事などを学びました。特に力を入れて学んだのが、突然の心停止への対応です。心停止が起こると、酸素が脳や体に供給されず、死に至ります。この時、素早い対応が必要となります。胸骨圧迫と人工呼吸をAEDが到着するまで繰り返します。AEDが到着したら、電源を入れると、音声案内が始まるので、それに従い処置を行います。

今回学んだことは、いつ実践することになるか分かりません。そのような場面に出くわした場合、率先して手当てするようにしたいです。

◆新任教職員の紹介

子ども心理学科教員 井上 充子

今年1月より、本学に勤務させていただいております、井上 充子と申します。これまで幼稚園を主に小学校等で、子ども達の保育に携わってまいりました。

小さな子どもを目の前にしていた今までは、環境が大きく変わりましたが、無限大に広がる子どもの可能性と直に関わり、共に成長して行ける保育士という素晴らしい仕事の喜びも難しさも、学生の皆さんに余すところなく、お伝えできればと思っています。

25年程の現場での様々な経験を活かしていけるよう、校長先生をはじめ、諸先生方のご指導のもと、精一杯努力してまいります。よろしくお願い致します

みなさん
よろしく
お願いします!!

